

1. 件名：原子力規制検査のためのリスク評価手法に関する日本原燃株式会社との面談

2. 日時：令和2年9月14日（月）13時30分～15時15分

3. 場所：原子力規制庁 16階 A会議室（オンライン開催）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設等監視部門

熊谷統括監視指導官、関主任監視指導官、小島係員

技術基盤グループ

核燃料廃棄物研究部門

森主任技術研究調査官、久保田統括技術研究調査官、

寺垣技術研究調査官、横塚技術研究調査官

日本原燃株式会社

安全・品質本部 副本部長（安全推進） 他5名

5. 要旨

（1）令和2年度より新たな検査制度が施行されたことを踏まえ、核燃料施設を対象とした将来的な原子力規制検査のためのリスク評価の活用に向けた検討に資するため、日本原燃株式会社と面談を行った。

（2）原子力規制庁から、発電用原子炉を対象とした原子力規制検査で使用する確率論的リスク評価（PRA）モデルの確認フローの概要について説明した。また、日本原燃株式会社から、再処理施設及びMOX燃料加工施設を対象としたリスク評価手法の整備状況に関する説明があった。

（3）原子力規制庁は、本面談での説明内容を踏まえ、核燃料施設を対象とした将来的な原子力規制検査のためのリスク評価の活用に向けた検討を行うとともに、必要に応じて再度面談を希望する旨を伝えた。

6. 配布資料

なし